

『歴史学科 履修の手引き 2019年度版（3年生）』

\* 『2019年度 履修科目登録要項』、『大学要覧（入学年度のもの）』を参照

1. 卒業要件—卒業するには何が必要か？—（『大学要覧』歴史学科課程表（ピンク色のページ）を参照）  
以下の3つの条件を全て満たす。

- (1) 【① 必修】科目および選択必修科目の単位を全て修得する。
- (2) 科目の区分ごとに設定された【② 最低修得】単位数を満たす。
- (3) 卒業要件の対象となる諸科目を履修し、【③ 124】単位以上修得する。

(1-1) 必修科目とは？

「聖書を学ぶ」(2単位)、「キリスト教の歴史と思想」(2単位)、  
「読解・作文の技法」(2単位)、「研究・発表の技法」(2単位)、「地域の課題Ⅰ」(2単位)

(1-2) 選択必修科目とは？

「④ 英語ⅠA（文献読解・日常英語・英会話）」(1単位)、「同ⅠB（略）」(1単位)  
「⑤ 英語ⅡA（文献読解・日常英語・英会話）」(1単位)、「同ⅡB（略）」(1単位)  
「ドイツ語、フランス語、中国語、韓国・朝鮮語の各ⅠA・ⅠB」（ⅠA・ⅠBセット、計2単位）  
「日本史概説Ⅰ・Ⅱ、アジア史概説Ⅰ・Ⅱ、ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ、考古学概説Ⅰ・Ⅱ、民俗学概説Ⅰ・Ⅱ」（⑥ 4分野Ⅰ・Ⅱセット、計16単位）

3年次以降の選択必修科目：「⑦キリスト教学A～D」(2単位)、「⑧ 総合演習Ⅰ・Ⅱ」(計4単位)、  
「⑨ 論文演習Ⅰ・Ⅱ」(計4単位) ※次頁参照

(2) 区分ごとの最低修得単位数とは？

	区分	卒業に必要な最低修得単位数
教養教育科目	第1類	人間的基礎 ⑩ 10
		知的基礎 ⑪ 10
	第2類	⑫ 18
地域教育科目		⑬ 2
外国語科目	第1類	⑭ 4
	第2類	⑮ 2
専門教育科目	第1類	⑯ 24
	第2類	⑰ 12
	第3類	⑱ 10
その他（教養教育科目、地域教育科目、外国語科目、保健体育科目、専門教育科目、教職等に関する科目、他学部・他学科開講専門教育科目、単位互換の協定を締結している他大学開講科目）		⑲ 32

## 2. 3年次（4年次）の履修上の注意点

### (1) 選択必修科目

- ・「キリスト教学A～D」…教養教育科目、各2単位
- ・「総合演習Ⅰ」、「同Ⅱ」…専門教育科目、各2単位
- ・「論文演習Ⅰ」、「同Ⅱ」…専門教育科目、各2単位（4年次履修科目）

### (2) 抽選科目：「キリスト教学A～D」（『履修科目登録要項』6頁）

A、B、C、Dの中から、第1～第3希望を選択し、MyTGで登録する。

期間は3月28日（木）10：00～31日（日）23：00

### (3) 履修登録上の制限（『履修科目登録要項』4頁）

- ・年間履修登録制限（キャップ制）：1年間で履修できる単位数の上限。資格科目は対象外。  
平成27～30年度入学生：44単位（4年次は48単位）。  
平成23～26年度入学生：48単位（4年次はなし）
- ・キャンパス間の移動による制限：他キャンパスで履修する場合は、移動時間として1コマ空ける。礼拝時間と昼休み時間は移動時間として認められない。

### (4) “泉返し”

卒業要件を満たすために泉キャンパスで履修せねばならない科目がないか、①～④で点検する。

①1・2年次の必修科目と選択必修科目の単位を全て修得できているか？

※「読解・作文の技法」と「研究・発表の技法」の再履修対象者は、担当教員の変更を希望する場合は、4月5日までに土樋キャンパス教務課に申請する。（『履修科目登録要項』5頁）

②教養教育科目の三区分それぞれで、卒業に必要な単位数を修得できるか？

区分		土樋キャンパスにおける教養教育科目の開講状況	
第1類	人間的基礎 (10)	「キリスト教学A～D」	(最大4単位)
	知的基礎 (10)	「クリティカル・シンキング」	(2単位)
第2類	(18)	開講されず	

③概説科目を、5分野のうち4分野のⅠ・Ⅱセット（16単位以上）で修得できているか？

以下の単位を修得した場合、条件を満たしているか？

<日本史Ⅰ・Ⅱ アジア史Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史Ⅰ・Ⅱ 考古学Ⅱ 民俗学Ⅰ>

④専門教育科目第2類（テーマ史）の単位を、2年次に6単位以上修得したか？

土樋キャンパスでは3科目開講（最大で6単位修得可能）

“泉返し”の状態は早急に解消すること

3. 資格科目履修上の注意点（『履修科目登録要項』12～14 頁参照、以下頁数は『大学要覧 2017』による）

● 3・4 年次資格科目 ⇒ 『大学要覧』の歴史学科課程表と、「各種資格取得の履修について」（303 頁～）を参照

- ・教職（305 頁～）：「教職に関する科目」と「教科に関する科目」の両方を見ること  
4 年次に「教育実習Ⅰ・Ⅱ」他がある。
- ・学芸員（321 頁～）：3 年次必修は 6 科目 ※選択科目も要確認（322 頁）  
「博物館実習Ⅰ（学内実習）」は人数調整による変更の可能性があるため、初回授業への出席は必須
- ・社会教育主事（326 頁～）：3 年次必修科目あり ※選択科目も要確認（328 頁）  
4 年次に必修の「社会教育計画」がある。
- ・司書（331 頁～）：3 年次と 4 年次に必修が多い ※選択科目も要確認（322 頁）
- ・司書教諭（331 頁～）：3 年次開講の司書教諭課程の必修科目がある。  
教育職員免許状の取得も必要。

※「読書と豊かな人間性」（後期・火曜日・3 講時に開講）

小沼、下倉、谷口、渡辺、辻、七海、加藤ゼミの学生は、「総合演習Ⅱ」が火曜日 3 校時に開講されるため重複する。そのため、「読書と豊かな人間性」は 4 年次に履修する

⇒ 卒業までの道のり全体を視野に入れた履修計画が求められる

- ・ 4 年次科目の履修は、基本的に 1 回限り
- ・ 資格科目の開講日時が卒業に必要な科目等と重なると履修できないので注意

4. 科目登録の概要（『履修科目登録要項』1～4 頁や、40～42 頁の Q&A も参照）

(1) 科目登録の方法

- パソコンから「東北学院ポータル My TG」にログインして行う。必ずメール通知設定を行う。  
詳細は『Web 履修操作マニュアル』を参照。
- 科目登録は学則、履修細則および入学年度の学科課程表に従い登録する。（『大学要覧』参照）
- 登録していない科目は、受講することも定期試験を受けることもできない。
- 科目登録は指定期間（4 月 9 日～14 日）内に完了しなければならない。指定期間外の取消や変更、追加は認められない。
- ただし、登録確認・修正期間（4 月 18 日～21 日）のみ、My TG で科目登録を修正できる。
- 科目登録について疑問がある場合は、指導期間（3 月 28 日～4 月 19 日）内に申し出ること（土樋キャンパスの教務課、もしくは泉キャンパスの学務へ）。

(2) 後期修正登録（『履修科目登録要項』4 頁参照）

後期開講科目に限り、削除または追加ができる。ただし、キャップの単位数を超えることはでき

『履修の手引き 2019 年度』（3 年生、教員用）

ない。抽選科目は削除できるが、追加できない。

対象者：平成 27 年度以降の入学生。（編入学生は除く）

期間：9 月 26 日（木）0：00～9 月 29 日（日）23：00

(3) 履修辞退（『履修科目登録要項』4 頁参照）

履修放棄は GPA で 0 点となるが、辞退申請しておけば、それを避けることができる。ただし、キ  
ャップの単位数としてはカウントされたままである。

対象者：平成 28 年度以降の入学生（編入学生は除く）

期間：前期は、5 月 21 日 8：30 ～ 5 月 24 日 17：00

後期は、10 月 23 日 8：30～10 月 25 日 17：00

(4) 登録の日程と手続の流れ：『履修科目登録要項』1～3 頁等を参照

## 5. その他

(1) GPA について

平成 28 年度入学生から適用。配点は右表参照。

GPA1.0 以下の場合、退学勧告

履修放棄は GP=0 としてカウントされてしまうので、特に気を付け  
る。それを防ぐため、履修辞退期間が設けられているので、よく確認  
する。（ただし、辞退してもキャップ制のカウントに残るため、新たに  
別科目の追加登録はできない点は注意が必要）

詳しくは、入学年度の『大学要覧』を参照

		GP
S	90～100 点	4
A	80～89 点	3
B	70～79 点	2
C	60～69 点	1
D	0～59 点	0
H	試験放棄・履修放棄	0

(2) 履修状況の自己点検

履修登録完了後、MyTG の時間割および「通知書」を見て、履修登録科目を自分で確認。

（履修登録するのを忘れたまま授業に出席し続けた例もあるので、注意）